

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)



事業所による自己評価の令和6年度の結果を公表します。
自己評価結果や保護者等アンケート結果をもとに支援の資質向上に努めています。
これからも運動&学習療育あなたが宝モノ岸和田堺町教室をどうぞよろしくお願いいたします。

公表:令和 7年 4月 1日

事業所名 運動&学習療育 あなたが宝モノ堺町教室

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|----------|---|------|-----|---|--|
| 環境・体制整備 | 1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 100% | 0% | 子どもの成長やプログラムの変化に合わせて指導訓練室のスペースを変化させています | |
| | 2 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。 | 100% | 0% | 法令を遵守しています。また、法令の配置数に加えて、常勤換算で児童指導員等を1名以上配置し、より行き届いた対応をすることを心がけています。 | |
| | 3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 100% | 0% | 療育室内はバリアフリー化に配慮しております。 | 教室が3階でエレベーターがありません。そのため難しい点もありますが、1人で階段の上り下りが難しいご利用者様にはお手伝いをさせていただきます。 |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 100% | 0% | 常に清潔で心地よく過ごせる環境を作るためノロックスによる空間除菌や清掃に取り組んでいます。また子どもたちが活動しやすいように物の配列も工夫しています。 | |
| | 5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 100% | 0% | 必要に応じてパーテーションでお子様が一になれる空間を作成したり、職員室で落ち着ける環境設定を行っています。 | |
| 業務改善 | 6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | 100% | 0% | 主に個別支援計画の作成に当たり、PDCAサイクルに則って職員が参画しております。また朝礼時に打ち合わせを行い、日々の振り返りも行っております。 | 職員全員が意識できているため、今後も新しい職員が入ってきた際には業務改善を進めることができるように推進していきます。 |
| | 7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 100% | 0% | | 保護者向け評価表の実施と共に、日々の連絡帳、LINE、聞き取り等を行い業務改善につなげています。 |
| | 8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 100% | 0% | 朝礼で意見交換の場を設けているため、日々業務の改善等を意識出来ている。 | 今後も職員が意見しやすい環境を作っていきます。 |
| | 9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 100% | 0% | | 外部からの評価があった際には、評価結果を職員に伝えて業務改善につなげることを継続できるようにします。 |
| | 10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。 | 100% | 0% | 毎月、職員の療育への意識向上・一貫性のある療育提供に向け、日課プログラムの研修・模擬授業を行っています。 | 研修の機会について開催する機会があるため、参加人数を増加できるように職員の配置や参加意欲を向上させていきます。 |
| 適切な支援の提供 | 11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 100% | 0% | 毎月プログラムの反省・改善を行っており、保護者様には都度連絡帳にてプログラムのご利用者様の様子を公表しております。 | |
| | 12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 100% | 0% | 6か月毎にモニタリング、アセスメントを行い、お子様と保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、サービス計画を作成しています。 | |
| | 13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 100% | 0% | 放課後等デイサービス計画を作成した際には、職員全員に周知確認した上で再度検討する機会も設けています。 | |
| | 14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 100% | 0% | 放課後等デイサービス計画を職員間で必ず共有・確認しており、計画に沿った支援を行っています。 | |
| | 15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 100% | 0% | Vineland-II適応行動尺度を用いた検査や日々の行動観察、聞き取りなどでこどもの適応行動の状況を確認しています。 | |
| | 16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、 | 100% | 0% | 放課後等デイサービスガイドラインのねらいを含めて、お子様に必要な支援を適切に設定し且つ具体的な支援内容を設定しています。 | |
| | 17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 100% | 0% | 各教室長を中心にチームで年間計画を立て職員で共有しています。 | |
| | 18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 100% | 0% | 月毎にテーマを決めプログラムを入れ替えています。障がい特性に合わせて随時プログラムの入れ替えも行っています。 | |
| | 19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | 100% | 0% | お子様の状況に応じて、運動と学習、等多様な支援を心がけています。また、それぞれ個別、小集団、大集団と発達段階に合わせてクラス編成を行っています。 | |
| | 20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 100% | 0% | 支援開始前には職員間でできる限り打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担、注意や配慮が必要な点について確認しています。 | |
| | 21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 100% | 0% | 支援終了後は送迎等もあり全員集まったの振り返りは難しい状況です。かわりに、翌朝の朝礼時の振り返りや共有ノート、日報、チャットコミュニケーションを通じて、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有するよう工夫しています。 | |
| | 22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 100% | 0% | 日々の支援に関して必ずお子様一人一人の個人日誌に記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげています。 | |

| | | | | | | |
|--------------|----|--|------|-----|---|---|
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 100% | 0% | 定期的にモニタリングを行い、無理な目標や必要性が低くなった目標、あるいは達成した目標などを評価し、目標の再設定を行っています。 | |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせることで支援を行っているか。 | 100% | 0% | ガイドラインの総則の基本活動を複数、柔軟に組み合わせることで支援を行っています。 | |
| | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | 100% | 0% | お子様がどのような気持ちなのか、どうしたかったのかを聞き取りながら次はどうしたら良かったのかを提案したりなど、お子様が自己選択できるように工夫しております。 | |
| 関係機関や保護者との連携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 100% | 0% | 原則児童発達支援管理責任者が参加しております。やむを得ず他の職員が出向く際は、事前に内容を共有、確認を徹底に行うようにしております。 | |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 88% | 13% | 保護者様を通じて、関係機関からの情報を共有していただき、療育内容に反映しております。 | 体制はあるが、仕方や内容等について把握できていない部分があるため、各職員が把握できるように連携・情報共有を行っています。 |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | 100% | 0% | 保護者様を通じ行事予定表をコピーしていただくなど学校との情報共有を行い連携を取っています。送迎等の連絡調整も適切に行っています。 | |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | 75% | 25% | 保護者様や相談支援事業所の担当者様を通じて、情報共有をさせていただいております。 | 担当者会議で機会を得られていましたが、今後はできる限り、こちらからも就学前に利用されていた施設へ情報共有・相互理解できるよう働きかけていきます。今後さらに支援内容やご利用者様の様子・療育の成果をお伝えするようにいたします。 |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | 100% | 0% | | 当事業所から直接障がい福祉事業所に通われるケースがありませんでしたが、できる限り担当者会議を行い就労支援事業所など各関係機関と連携をとれるようにしていきます。 |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | 75% | 25% | 児童発達支援センター等の専門機関と連携し、療育の共有、助言をいただいております。 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関が企画・開催している研修に積極的に参加し、また訪問して連携をとっています。 |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | 38% | 63% | | 事業所内での療育の質を高めることを重点的に取り組んできたため、なかなか交流ができておりませんが、今後、必要に応じて障害のないお子様との交流の機会を作っていきます。 |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | 88% | 13% | | 協議会等の会議やイベントに参加できる機会があれば、積極的に参加していきます。 |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。 | 100% | 0% | 送迎の際や電話、連絡帳、メール、LINEなどで日頃からお子様の状況を保護者と伝え合い、お子様の発達の状況や課題について共通理解を持つよう努めています。 | |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 75% | 25% | 相談のあった保護者には積極的に行っています。外部講師を招いたセミナーを年1回ほど企画し保護者の方にご参加いただきご家庭での支援に役立ててもらっています。 | 今後はペアレントトレーニング等の保護者支援ができる機会を積極的に企画してまいります。 |
| 保護者への説明等 | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 100% | 0% | 療育説明会での支援内容のご説明と同時に、ご契約前には運営規定並びに利用者負担について丁寧に説明しています。 | |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 100% | 0% | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、必ず保護者様と聞き取りを行い、お子様や保護者様の意思を尊重する機会を設けています。 | |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | 100% | 0% | 保護者のご同意を得ています。今後さらに支援内容と支援計画を保護者と深く共有するため、支援計画を示しながら同時に療育成果報告と今後の課題と方針を説明する面談をしています。 | |
| | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 100% | 0% | 電話、連絡帳、メール、LINE等でいつでも相談できる環境を構築しており、日々の保護者からの子育ての悩み等の相談に対応しています。保護者様からご相談があった場合はアセスメントや面談を設けて必要な助言や検査を行っています。 | より相談しやすい環境づくりに努めてまいります。 |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。 | 50% | 50% | | 療育参観を企画し保護者同士の連携を支援して参ります。 |
| | 41 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 100% | 0% | 苦情相談窓口を設けており、そのことは周知しております。相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しています。 | |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 100% | 0% | 毎月活動内容を載せた宝モノ通信を保護者向けに発行しています。その他にLINE、HP、ブログ、Facebook等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しています。 | |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 100% | 0% | 個人情報には鍵付き書庫に保管しています。名前の載った資料の破棄はすべてシュレッダーで行っています。またスタッフに定期的に注意喚起しています。 | |
| | 44 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 100% | 0% | 子どもには視覚情報を多用して意思疎通できるようにしています。保護者との意思疎通ツールとしてLINEなどできるだけ視覚的に記憶・記録に残るツールの使用を心がけています。 | |

| | | | | | | |
|---------|--|---|------|---|---|---|
| 非常時等の対応 | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 78% | 22% | | 今年度はできなかったため、来年度は事業計画に取り入れ、積極的に取り組んでいきます。 |
| | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 100% | 0% | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員に周知しています。新型コロナ感染に伴い保護者様にもご理解とご協力をいただきました。 | |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 100% | 0% | 2か月に1回必ず、避難や救出など様々な避難訓練をお子様と一緒にしています。 | |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | 100% | 0% | 入会時に事前調査票に記入していただいた情報と面談を元に服薬や予防接種、てんかん発作等の有無を把握しています。 | |
| | 49 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 100% | 0% | 入会時に事前調査票に記入していただいた情報と面談を元に食物アレルギーの有無を把握し、主治医の指示書がある場合はそれに基づいた対応をしています。 | |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 100% | 0% | 安全計画を実施し、研修や訓練を行っています。 | |
| | 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 100% | 0% | 契約時に緊急連絡先の共有や避難訓練を行った際には、連絡帳への周知などを行っています。 | |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 100% | 0% | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について各教室の担当職員同士で検討しています。 | |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 100% | 0% | 岸和田市が開催している虐待防止セミナー等に職員が参加し継続的に研修をしています。参加した職員を通してスタッフにも内容が広く共有できるようにしています。 | |
| 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 100% | 0% | 現状、該当するご利用様はいませんが、どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、お子様や保護者様に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載する仕組みを構築しています。 | | |